

特集

地方から発信

地方の時代といわれて久しい。特産物やグルメなど、地域に埋もれた宝物を探す努力は日々行われているが、それを発信するところまでは至っていないのが現状ではないだろうか。

IT業界の寵児であった堀江貴文氏は、ややシニカルに「僕は面白いが、面白くないかでは判断しないんで。地方に住むことにこだわる必要もないと思う」と語る。地方に対する否定的な意見に聞こえるかもしれない。しかし、裏を返せば都会に住むことにもこだわらないと表明しているのではないかと。

ある場所ではできないことなんて、ほとんど無くなっている。要はどこで暮らすのが一番面白いのか。地方と都会の対比はあまり意味を成さなくなっている。

佐賀在住でありながら、iPhone/iPadアプリのランキングに次々と作品を送り込む武藤樹一郎さんは、アプリ開発に地域間格差はないと断言する。「世界中、同じスタートラインに立つことができるので、佐賀から世界へ、ということも十分、可能です」と語る。

7月には佐賀で37年ぶりとなる日本青年会議所九州地区大会が開催される。メインフォーラムでは、TV通販でおなじみのジャパネットたかた代表取締役の高田明氏やタマホーム代表取締役の玉木康裕氏が登壇。地方から全国区となった企業を作り上げた経験談を語る。

住んでいる場所を愛しながらも、それに囚われず、新しいものを作り発信していく。そこそが地方をもっと面白くする生き方ではないだろうか。

情報発信 塀の中も変化

かつて「時代の寵児」と呼ばれ、IT産業をけん引した元ライブドア社長の堀江貴文氏(40)。旧ライブドア事件で有罪判決を受け、今年3月の仮釈放後も積極的にネット動画に出演し、相次いで著書も発表。今も若い世代に強い影響力を持つ。ニッポン放送の買収を仕掛けるなど、既存メディアの変革を叫び続ける堀江氏が佐賀新聞社の中尾清一郎社長と対談し、地方紙の将来像などについて語った。(佐賀新聞より転載)



記者が前面に出た方がいい

中尾 堀江さんの本を随分読ませてもらった。とても面白かったです。私は52歳で堀江さんより一回り上の世代だが、新聞社の社長をもう27年間やっています。社長になった20代半ばから、新聞業界の保守性や旧態依然としたビジネスモデルは必ず行き詰まると言い続けていて、こんなに長く持つとは思わなかった。ただ、この数年間は、相当にまじいと感じている。堀江さんにとって新聞はオールドメディアすぎるかもしれないが、収監中は結構、読まれていたとか。

堀江 刑務所で閲覧される読売新聞のほかに4紙購読していた。限られた情報収集の手段で、時間つぶしになりました。

中尾 刑務所生活で、堀江さんがメディアについて考えたことは。

堀江 出所して決定的に違っていたのがフェイスブックなどのソーシャルネットワークの劇的進化。自分のツイッターのフォロワー(読者)は100万人で、テレビの視聴率にすれば1%。そんな人間が10人、20人集まって動画サイトと連動すれば、視聴率10%前後の放送局を持っているのと同じ。つまり、ソーシャルメディアの時代は個人にフォロワーがつく時代で、ある種のブランドにしかつかないと言える。新聞社にフォロワーがつくかという、難しいのかなと思いますね。むしろ、記者や解説者のような人たちが前面に出ていった方がいい。そこに「パワード・バイ・佐賀新聞」とか入れて、フォロワーを獲得していくのも一つの形ではないでしょうか。



読者プレゼント 堀江貴文さん サイン入りモテモテさが 2名

詳しい応募方法はP134～のプレゼントページをご覧ください！

害を持つ受刑者が刑務所を出たり、入ったりしている現実をどう感じましたか。
堀江 今の刑務所は、中で規律正しい生活をしてさえいけば出所してもオーケーみたいな考えだが、全然そんなことはない。彼らが社会に出るためにどう更生させるか、再犯を防ぐために何をやるべきか、という考え方にはなっていない。これからは再犯防止策が何より重要になっていく。そのためのも更生プログラムや教育について関心を持っています。

◇インタビューを終えて◇

堀江氏が新聞やテレビなど既存のマスメディアに厳しい評価をしていることはよく知られている。「放送局のビジネスモデルは終わっている」「新聞はアナログ過ぎて読む気にもならない。いまどき

印刷して宅配する意味がわからない」といった語録には事欠かない。よって、フジテレビ騒動を機に、堀江氏を敵視するメディア関係者も多い。私は彼の鋭い指摘に新聞経営者として答えを出さなければならぬと思っている。
一方で、人が合理主義だけでは動かず、情念の動物であることも経験上知っている。堀江氏は質問の答えに余分な言葉を添えない。当然、リップサービスもない。今回のインタビューでは「予定調和」にとっぷり浸っている私の質問と噛み合わず、申し訳ないことをした。ただ、堀江氏が不合理を憎み、理不尽な社会を何とかしたいと考えているなら、それが日本の閉塞感を打ち破る原動力になるだろう。今後の彼から目が離せない。
(中尾清一郎 佐賀新聞社社長)



中尾 堀江さんは著書の中で、地方紙を束ね、インターネットで縦覧できるようにしたアメリカのサービスを紹介している。

堀江 縦覧できることが重要なのではない。確かにローカルニュースは充実するだろうが、それだと全国紙と変わらない。僕が考えているのは経営の効率化の話で、地方紙が共通のネット基盤やインフラを整備し、ホールディングスのようなグループ企業化していくと、全国紙よりも力が強くなっていくんじゃないかと思ったんですよ。

中尾 その考えは正しいが、地方紙はそれぞれが「お山の大将」なので無理です。もし実現できたら、

日本のメディアの多様性とジャーナリズムが守られ、安価で良質なローカルのコンテンツが広がっていくと思うのですが。

新聞の枠飛び越えて

中尾 堀江さんは八女市の出身ですが、あまり地方の話はされない。佐賀の人口は東京の一つの区くらいしかないが、その中に多様な生活の営みがあり、そこに価値を見いだして新聞を作っている。地方紙は何を示していくべきだと思いますか。

堀江 僕は面白いが、面白くないかでしか判断しないので。地方に住むことにこだわる必要もない

受刑者の更生に関心

中尾 堀江さんが刑務所生活で学んだこと、辛かったことは。

堀江 一部の受刑者からの嫌がらせ、刑務所内の寒さはこたえた。この寒さは改善されるべきとメルマガで訴えたことで、次の冬からは暖房が入り、毛布の支給も増えた。情報発信することで、刑務所にさえ変化を起こすことができるということですよ。

中尾 堀江さんは、秘書給与詐取事件で服役した元衆議院議員山本譲司さんの著書「獄窓記」を読まれている。そこで触れられている高齢者や知的障

ほりえ・たかふみ 1972年、福岡県八女市生まれ。東京大学在学中にライブドアの前身「オン・ザ・エッチ」を設立。2004年にプロ野球の球団買収に名乗りを上げ、注目を集めた。サガン鳥栖への経営参加にも動いたが、実現しなかった。05年にはニッポン放送の筆頭株主となり、衆院広島6区から立候補したが、落選。06年にライブドア粉飾決算事件で証券取引法違反容疑で逮捕、起訴され、11年に懲役2年6月の実刑判決を受けた。今年3月に仮釈放。

と思う。私だったら、新聞社の枠すら飛び越えちゃう。新聞（の発行）という核はあるにせよ、一つのことにとどまることもない。培ってきた信用なりを利用して、いろんなことをできるじゃないですか。資本投下が必要ないものを選び、積極的に何かやっていきますね。私はそういうタイプです。
中尾 もし、新聞がすべてウェブやモバイルで見られるようになれば、ご覧になりますか。紙面では、相当な情報量を割り付けていますが。
堀江 いやあ、どうだろうな。ヤフーニュースとかに慣れちゃってますからね。それで事足りるんじゃないですかね。僕の場合は言うところ、400字以上の記事は読みたくない。雑誌の記事なんか長すぎる。書き手が長いので書けないんですよ、多分。スペースを埋めるために削っているのではなく、増やしている。ネット生中継の対談も、うまく要約して400字くらいで伝えた方がいいのかなと思っています。



iPhone / iPad アプリ プロフェッショナルプログラマー 夏季養成講座



12日間で基礎からランキング上位を狙えるアプリを作るテクニックまでしっかり学べるカリキュラムです。講習会終わりにオリジナルアプリを1つ作ることを目標にします。

第1回 7/22～26(月～金)、
7/29～8/2(月～金)、
8/5(月)、8/9(金)

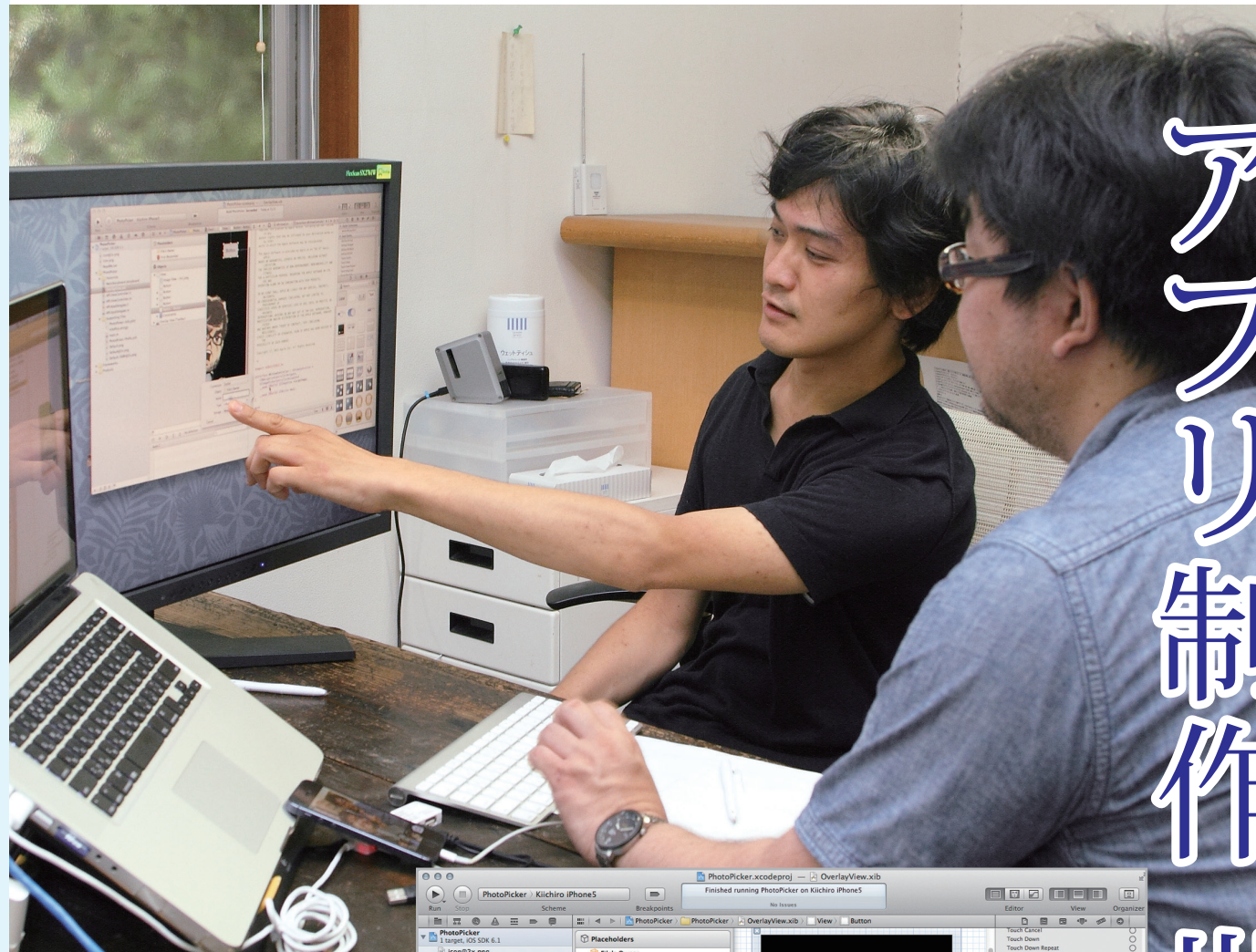
第2回 8/19～23(月～金)、
8/26～8/30(月～金)、
9/2(月)、9/6(金)

※最終週は実際に自分でアプリをつくり、最終日はプレゼン

- 時間** 19:00～21:00 (最終週は終日開放予定)
- 場所** エポック白山2階教室
最終日はエスプラッツホール (一般公開予定)
- 受講料** 63,000円(全12回)
- 定員** 15名
- 入会金** 2,100円
- 募集要項** 学生(大学生以上)、社会人で本格的にアプリプログラマーを目指したい方。パソコンの基礎知識(Excel/Word/インターネット閲覧など)がない方は講義についてこれない可能性がありますので遠慮ください。

お問い合わせは
株式会社 SagashibunBunka Center
佐賀新聞文化センター
エスプラッツ教室
TEL 0952 - 25 - 2160

詳しくはP114をご覧ください



アプリ制作 世界へ

武藤さん7月集中講座

佐賀に住みながら、iPhoneやiPadのアプリ開発という最先端のIT業界で戦う人がいる。武藤樹一郎さんが開発したアプリ「動物折り紙」は全アプリ65万件中4位。教育部門では1位を達成した。漢字や算数を覚えるアプリも教育部門で常に上位にランキングしている。7月からは佐賀新聞文化センターで「iPhone/iPadアプリプロフェッショナルプログラマー夏季養成講座」を行う。佐賀から世界へ。最先端の情報技術を学ぼう！

「ゲームアプリ『パズル&ドラゴンズ』の大ヒットでガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社は時価総額1兆円を超えました。アプリ開発は佐賀に住んでいても、世界中の人々と同じスタートラインに立つことができます。可能性は無限なのでチャレンジしがいがあるのでは」と武藤さんは語る。夏季養成講座は計12日間で基礎を全て教えてくれる。「覚える要素は合計100個くらいです。必ずアプリを完成させることが出

2ショットアプリ?

まずはアイデアを練る。2時間未満で出来るものという前提なので、極力シンプルなものを考える。iPhoneにはカメラが搭載されている。これを使って何かできないか?そこで考えたの

が「モチモチ編集長と2ショットが撮れるアプリ」。編集長画像と一緒に撮影できるというものだ。まあ誰が喜ぶのかは不明だが、とにかくこれでいくことに。いよいよ制作開始。パソコンには事前に「xcode」というアプリ制作ソフトをインストールしておく。基本的にはこのソフトがあればアプリが出来る。通常はシミュレータと呼ばれる機能で、アプリがきちんと動いているか確認しながら制作していく。今回はカメラ機能を使うためiPhoneをパソコンにつないで動作を確認する。

アイコンは画面の解像度の違いに備え2種類作っておく。xcodeでは、アイコンの背景の色を決めたり、光の効果を出したり設定ができる。

直感的で簡単

次は実際のプログラミング。まっさらな状態から始めるのもよいが、よく似た機能を持つアプリを参考にする場合も多い。今回はカメラ機能を使用するアプリを使う。まずはシャッターボタンを作る。あらかじめ用意していたボタン画像を、xcode上にある「完成予想図」画面に乗せる。するとプログラムが書き変わりに乗る。実際のiPhone上でもボタンが現れる。次にボタンに機能を「ひも付け」する。パソコン上の「完成予想図」画面にあるボタンから、機能を指示するウインドウへ「線」を伸ばす。直感的ですごく簡単だ。とりあえず一定の文字を表示するようプログラムをして動作させてみる。繋がっていることが確認できたら写真を撮るといふ機能をプログラムで与える。段階を踏んで制作することでエラーが出て問題点を把握しやすい。複雑なプログラムほど、地道な積み重ねが必要だという。

それから3種類の画像を選択できるように、ボタンをつくる。1つできれば、あとはコピー&ペーストで作成できる。これで終了。本当に2時間くらいで完成した。実際に使ってみる。自分と自分の2ショット写真…。なんだか不思議な感じだ。

「よく分からない記号の羅列」というプログラミングのイメージとは違い、ビジュアル的に組み立てられ、直感的に操作できるので、思っていたよりもとつきやすく、これなら作れそうな気がしてきた。

「プログラマーだけでなく、ディレクションやプロデューサーなど運営側のポジションの人にもおススメです。制作の流れを大枠で掴んでいれば指示も出しやすく、必要な工数などもある程度分かるので予算も立てられるようになります。講座形式で一方的に教えるというより、みんなでアイデアを出し合いながらサマーキャンプのノリで楽しくやっていきましょう」と武藤さんは呼び掛ける。地方から世界へ発信する。その第一歩となる非常に面白い試みだ。



アプリ完成!!

